

令和4年第10回教育委員会議臨時会 会議録

1. 開催日時等 令和4年12月1日(木)  
午前9時00分開会 午後3時7分閉会
2. 開催場所 ニセコ町役場 多目的ホール
3. 出席委員等 教育長 片岡辰三  
1番委員 下田伸一  
2番委員 越湖明美  
4番委員 巻礼子
4. 欠席委員 3番委員 大橋理絵
5. 事務局出席者 学校教育課長 阿部信幸  
町民学習課長 中村正人  
こども未来課長兼児童センター長 淵野伸隆  
学校給食センター長 三橋公一
6. 会議録署名委員 4番委員 巻礼子
7. 議 件

会議録署名委員の指名について

教育長の報告

報告第1号 令和5年度(2023年度)当初教職員等人事異動希望状況について

報告第2号 ニセコ町教育財産の目的外使用許可について

議案第1号 令和4年度(2022年度)要保護及び準要保護児童生徒の認定について(次年度新就学児童生徒の対象者の認定)

議案第2号 令和5年度(2023年度)ニセコ町教育費予算(案)について

※議案第1号は秘密会の議事として議決し非公開。

## 8. 議事の概要

**教育長:** 定刻となりましたので、ただ今から第10回教育委員会議臨時会を開催いたします。

本日の議事日程は、予めお配りした議事日程表のとおりです。

日程第1、会議録署名委員の指名を行います。

会議規則第12条第5項の規定により、「4番 巻委員」を指名いたします。

次に「日程第2 教育長の報告」について、私から説明いたします。

・・・教育長から教育長の報告について説明・・・

**教育長:** 教育長の報告の説明が終わりました。

それでは、質疑を行います。質疑はありますか。

・・・質疑なしの声・・・

**教育長:** 以上で報告済みといたします。

**教育長:** 「日程第3 報告第1号 令和5年度当初教職員等人事異動希望状況について」を

議題といたします。説明をお願いします。

・・・学校教育課長が議案を読み上げ、内容説明・教育長補足説明・・・

教育長：「報告第1号」の説明が終わりました。

それでは、質疑を行ないます。質疑はありませんか。

・・・質疑なしの声・・・

教育長：以上で報告済みといたします。

教育長：「日程第4 報告第2号 ニセコ町教育財産の目的外使用許可について」を議題といたします。説明をお願いします。

・・・町民学習課長が議案を読み上げ、内容説明・・・

教育長：「報告第2号」の説明が終わりました。

それでは、質疑を行ないます。質疑はありませんか。

・・・質疑なしの声・・・

教育長：以上で報告済みといたします。

教育長：「日程第5 議案第1号 令和4年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について」の件については、個人情報取扱にかかわる内容であることから、今回の教育委員会議での議事を「秘密会」とすることを発議いたします。

本件について、討論を行います。

反対、または賛成の討論はありますか。

・・・討論なしの声・・・

それでは採決いたします。

「日程第5 議案第1号 令和4年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について」についての件は、「秘密会」とすることにご異議ありませんか。

・・・異議なしの声・・・

異議なしと認めます。よって、会議規則第6条の規定により、「議案第1号」の議事は、「秘密会」とすることに決しました。

・・・秘密会審議中・・・

教育長：これで「秘密会」の議事は終わりましたので、これより議事は公開とします。

教育長：「日程第6 議案第2号 令和5年度ニセコ町教育費予算（案）について」を議題といたします。

事務局から提案理由の説明をお願いします。

・・・学校教育課長が議案を読み上げ、担当課係長等が内容説明・・・

## ○学校給食センター

下田委員：アルミの食器を使っているところもあるようですが、どの素材が良いとかわかりますか。

学校給食センター長：食洗器を使うので、アルミ素材は傷が目立つということがあります。今使っているのは樹脂製のもので傷が目立たないので、来年度は樹脂製で更新でき

ばと思っています。

**下田委員：**メーカー側から、耐用年数等の情報はありますか。

**学校給食センター長：**特にはありませんが、使っていて汚れが落ちるか落ちないかのあたりで判断しています。

**下田委員：**安全性は特に問題ありませんか。

**学校給食センター長：**安全性の問題はありません。新しいからコーティングをしているというわけではなくて、樹脂をプレスしているだけなので、何か不安があるということはありません。

**巻委員：**賄材料費でいろいろな物が値上がりをしているところで、給食費の予算が平成23年度から据え置きのままということはありがたいことですが、どこまで町費で賄っていくのか、この先の見通しも含めて考えていますか。

**学校給食センター長：**給食費の据え置きは町長が就任した時から継続して実施しているもので、保護者の負担軽減対策として進めています。予算見積書資料の中で、令和5年度町費負担額8,946,980円とありますが、これは給食費を据え置きした場合に、食材費を町が負担をする金額になります。令和4年度の町費負担額が約460万円なので、令和5年度はほぼ倍近く上がることとなります。町の財政事情にもよりますが、町全体の予算額ができあがった中で、町長の政策として値上げをしないとするのか、あるいは財政事情が厳しいので、令和5年度は少し値上げをさせてもらいたいということになれば、今後学校給食センター運営委員会や教育委員会議で協議をさせていただいて、もしかすると値上げになるということもあるかもしれません。この件につきましては、まだ町長と協議をしていないので、全体的な財政事情を踏まえて、最終的には町長の判断によることとなります。

**教育長：**町長の政策の中で、本当は給食費を無料にしたいという意向がありますが、単年度で無料にしても、全体で3,000万円程かかる予算なので、継続的に持続可能な計画としてできることなのかということでは、今は当面給食の保護者負担金は上げないということとしています。町で約460万円から900万円の持ち出しにはなりますが、その方向で進めたいということではあります。ただ今後、このような状況なので、食材や電気代や重油代等が値上がりがかかり影響してくることは予想されています。

**学校給食センター長：**消耗品でも洗剤等も値上がりをしていまして、これまでは無料だった配送代も、燃料費が高騰していることで有料になったりということもあって、消耗品費も増額で計上させていただいております。

**下田委員：**人員配置の状況はどうですか。

**学校給食センター長：**現在は常勤調理員7名、代替調理員3名となっています。本来は代替調理員は4名が望ましいところなので、ハローワークや町のホームページで募集をしていますが、時給が安いこともあってか応募がない状況です。

**下田委員：**今年度賃金単価を上げるということですが、民間企業の相場と比較してもなかなか厳しいと思います。全町的に決まった金額ですか。

**学校給食センター長：**最低賃金からスタートすることになっています。

**下田委員：**これまで勤務している方の金額も上がりますか。

**学校給食センター長：**これまで勤務している方は、毎年昇給をしています。一般職員の毎月の給料が上がれば、会計年度任用職員の給料も上がるという状況です。

下田委員：人がいないと始まらないと思いますので、報酬単価は上げていかなければいけないと思いました。

食器が要求どおり通れば良いと思いますが、万が一通らなくても、少し汚れが落ちにくいとか大変さはあるかと思いますが、何ら恥じることなく胸を張って安全ですということを使っていただきたいです。町の持ち出しも倍増で、電気代も3年前から倍増しているようなので、どこか削減もしなければというところもあります。

学校給食センター長：微々たるものかもしれませんが、LED照明の財政支援があるうちに対策をうてればと思っています。

下田委員：公用車の日産リーフは、今年から給食センターに配置されましたか。

学校給食センター長：今年の6月から、給食センターの公用車として配置されました。

下田委員：使用頻度はどのくらいですか。

学校給食センター長：毎日使用しています。

下田委員：充電はどこでしていますか。

学校給食センター長：役場の車庫のところですよ。

教育長：ほかに質疑はありませんか。

越湖委員：ニセコ高校用の配膳保管コンテナが計上されていますが、給食が冷たいのは良くないと思います。他の学校の状況はいかがですか。

学校給食センター長：ニセコ小学校は給食搬入口からすぐ教室の前に持って行けるので、直接外気が当たるようなことはありません。近藤小学校も職員がすぐに2階の教室にも運んでくれますし、中学校は玄関を入れて正面の奥にボックスがあって、それがキャスターが付いた給食の食缶を入れるところになっていて、職員がエレベーターを使って各教室へ運んでいるので、小中学校は大丈夫です。高校だけが給食搬入口の引き戸もきちんと閉まらなくて、外気に当たってしまいます。温かい給食を提供したいということで、今回コンテナを新規に要望しています。

巻委員：いろいろな部分で予算が膨大化しているので、優先順位をつけて絶対に削れないというところを示さなければ難しいと思います。

教育長：今回給食センターではたくさん新規要望を出してきていますが、当然全部が認められないので、ご指摘のとおり、担当としても優先順位をつけて今後交渉していくことになると思います。

休憩 10時25分

開会 10時35分

## ○学校教育課

### ・総務係

下田委員：教員住宅が老朽化していて、入居している先生も不便だということはいくらも言われていると思いますが、発想を変えて、民間に売却して、民間の保有する物件に入居してもらってそこを補助するとか、今後柔軟に考えていかなければ、いつか物凄い負担になると思います。

ハイエースですが、企画環境課で使用しているリーフはリースだったと思います。今新車を発注しても半導体不足で2年待ちとかいうこともあるので、必要な時にリースで対応ということは民間でもやっていることなので、柔軟に対応できればと思いました。

**教育長**：リースのお話については、町の財政係と協議を進めていきたいと思います。

**巻委員**：他町村から通っている先生達も多いように見受けられますが、教員住宅は全戸入居している状況ですか。

**学校教育課長**：今年は全戸入居しています。

**教育長**：今年は先生方が増えたこともあります。来年度もまた増えますが、今は他町村にご自宅がある先生は通勤されている方もおります。管理職も短期間で単身で赴任される場合もあるので、教員住宅そのもののあり方も考えていかなければいけないと思っています。先生達にも良い住宅環境を提供できると良いのですが、これまでも近隣町村から通勤している方や、古くても少しでも家賃の安い公宅にという希望を持っている先生もいらっしゃいます。

**越湖委員**：時間外勤務手当が減額になっている原因は何ですか。

**学校教育課長**：時間数は実績に基づいて積算しています。また、職員を見込んで計上しているのですが、職員によって単価は変わります。町によっては年度当初に、給料の5%分を時間外として計上しているところもありますが、本町は前年度実績に基づいて計上しています。

#### ・学校教育係

**下田委員**：小学校の備品をシェアするのは良いことだと思いました。日本語ができない児童の対応の部分で、インターナショナルスクールではなくニセコ小学校にということですか。

**学校教育係長**：インターナショナルスクールがあることも知っていても、将来的なことを考えて公立学校を希望する場合があります。もしかすると途中で帰国する可能性もある場合もあります。

**下田委員**：その辺りをどこまでケアするかというところで、今後、いろんな国からその国の言語しか話せない子も来るかもしれませんし、人を配置していてもご家庭の事情で短期間でニセコ小学校とインターナショナルスクールを行ったり来たりするというようないろんなパターンがあると思いますので、全てを受け入れるのではなく、できないこともあるというスタンスも必要かと思います。

**学校教育係長**：子どもたちも大変だと思いますが、担任の先生も大変だと思います。1人だとポケットク等の利用で対応できると思いますが、それ以上になると厳しいと思います。

**下田委員**：そうすると、日本語の子どもたちと先生と外国語しか話せない子と、それぞれに良い結果にならないような気がするのですが、難しいところだと思います。ただ、できる限りのことをという思いも当然あるかと思うので、検討した方が良いと思います。せっかくインターナショナルスクールがあるのでということも思います。

**教育長**：ほかに質疑はありませんか。

**下田委員**：電話設備は各学校の回線は1～2本ですか。

**学校教育係長**：2本に増やしました。

**下田委員**：ラッシュの時は繋がらないこともあると思いますが、固定電話を整備するとなると経費がかかるとおっしゃるので、携帯電話をうまく活用して柔軟に対応できると良いと思います。

**巻委員**：LEDは器具を取り換えるだけで、教室全体の明かりとして暗くなったりするこ

とはありますか。

**学校教育係長**：大丈夫です。照度はとらなければいけないので、そこは検査をしながらやらなければいけません。近藤小学校の増築棟を見ていただいたと思いますが、LEDになっています。

**巻委員**：古い設備の電球等を取り換えるだけで照度が保たれると良いと思います。もし足りなければ、もともとの数を増やすということもあるのかと思いましたが、そこまでの必要はないですか。

**学校教育係長**：そこまでは大丈夫です。

**巻委員**：社会科の副読本についてですが、教科書の改訂に合わせては特にやっていなくて大丈夫ですか。

**学校教育係長**：ニセコ町独自の内容に特化しているものなので、そこはリンクしなくても良いと思います。内容の改訂については、先生たちと一緒に作業をします。

**巻委員**：安心安全メールはニセコ町でも使っていますか。

**学校教育係長**：オクレンジャーを使っています。

**巻委員**：朝、急遽連絡を入れる場合には、保護者の方からもできるようになっているようなので、電話回線が混まなくなったという話を他の町の学校で聞いています。ただ、その後、先生方から確認で保護者に電話をしなければいけないということはあるようです。

**学校教育係長**：オクレンジャーもおそらくできるシステムだとは思いますが、今は配信だけにしています。

**巻委員**：朝あまりにも混みあうようであれば、活用するのも良いと思います。

**教育長**：幼児センターで導入したシステムは双方向で使えます。保護者からの欠席連絡は、そのシステムを使って入ってきます。オクレンジャーは保護者からの欠席連絡は受け付けていないですか。

**学校教育係長**：今はやっていません。

**教育長**：利用できる契約の範囲を増やすとできるようになるのか、そもそもオクレンジャーは送ることしかできないのか、そのあたりはどうですか。

**学校教育係長**：詳しく確認しますが、双方向はできるはずです。あとは、先生たちがどのように確認作業をするかどうかだと思います。

**教育長**：タブレットを使って、朝登校した子どもたちの健康管理等ができたり、電話の応答セットも便利になっていて、働き方改革の関係で、勤務時間外については留守番電話で対応したりしているところも増えてきています。

外国人の関係は、人数が4人以上になると国の日本語教師の配置基準にもなるので、安定的に人数がいるということになれば、要求していきたいと思っています。

**下田委員**：途中から増えても対応できますか。

**教育長**：そこが難しいところで、4月か5月の当初になると思います。

ご家庭の考え方で、家庭でも日本語を使って早く日本語を覚えるようにという場合もありますが、一方では、家庭では母国語を使用するので、日本語の習熟が遅い子もいるということもあるようです。

## ・高校教育係

**下田委員**：来年度入学希望者数の見込みはどのくらいですか。

高校教育係長：例年より少し多いということでは想定しています。

下田委員：30人くらいはいますか。だいたいの人数はいつ頃わかりますか。

教育長：出願が1月なのでそこでおおよそ確定して、その生徒たちがほぼ入学します。

下田委員：2次で変わることはあまりありませんよね。

教育長：昨年度から推薦入試が導入されまして、昨年度は、2月の推薦試験で5名決まったので、今年も推薦で出てくるところはあると思っています。今年の2回の体験入学でいくと、全体で30名程度かと思っています。

下田委員：道外からの希望はありますか。

高校教育係長：問い合わせは2件くらいありましたが、入学に繋がるかは不明です。

下田委員：高校の体育館の一般利用はどうですか。

高校教育係長：1月前くらいに職員会議でも議論をして、再開の検討に入ったところですが、コロナの関係もあって今は休止の状態です。

下田委員：予算にも関係してくると思いますので、広く利用率が上がるようにしてもらいたいと思います。

教育長：コロナの関係で体育館も使えず、周知も自粛していた部分もありますが、できるだけ使えるようにしていきたいと思います。

越湖委員：給食配膳の件ですが、給食センターの予算で給食が冷えないようにということで予算を計上していましたが、その他に高校では工事が必要ということですか。

高校係長：給食を置く部屋の扉に隙間があって凄く寒いので、断熱材を入れるような改修を考えています。

教育長：中学校は玄関から運ぶようですが、高校も玄関から入れて暖かい所に置くということではできませんか。

高校教育係長：それも検討しました。一階に給食を置くスペースはありますが、そこはトイレの目の前なので、衛生上良くないという話になりました。今回コンテナがあれば相当違うということで、1番はコンテナ希望で、予算が付けば場所も合わせて整備したいということです。

越湖委員：ピアノが3台になったので自由に弾けるようにということですが、調律等の維持費もかかってくると思いますので、本当に3台が必要なのか、3台になったから今回のような対応をするということなのかお聞きします。

高校教育係長：今までグランドピアノがなかったので、それを授業でメインに使っています。体育館にはアップライトピアノを1台置いてあります。あとの1台をどうにか活用できないかということでいろいろ協議をしまして、ホールに置いて使えるようにしたら良いということでまとまりました。

越湖委員：他で使えるような場所があれば、移動しても良いのかと思います。

教育長：どこか他の施設で使えないかということですか。必要な施設があれば検討されると思います。高校のマットにカビが生えているという話もあって、保管室としての体育館の器具庫の湿気が、ピアノの保管にも良くないということは前には聞いていたので、フリースペースで頻繁に使えると費用対効果もあがると思います。体育館からの移動は頻繁にできないので、たくさん使うようであればそのままでも良いと思います。高校ではもともと1台要望をされていて、あの時は他に要望がなかったと思うので、今回いただいたという経緯はあります。宮田小学校にはもうピアノはないですか。

学校教育係長：ないです。近藤小学校はもう置く場所はありません。

教育長：町民センターに入ったグランドピアノは寄附で入って、そこにあったピアノが高校に移動したと聞いています。

・高校改革係

なし

休憩 12時02分

開会 13時00分

○幼児センター・地域子育て支援センター

・事務係・保育係

越湖委員：先生方の研修の件ですが、その中には救急救命の措置をするような研修も含まれていますか。

保育係長：今受けている研修に救命救急は入っていませんが、それとは別に、3～4年おきにニセコ消防の方をお願いして、職員全員がAEDと心肺蘇生を習っています。

越湖委員：毎年実施した方が、いざという時に動けると思います。

越湖委員：読み聞かせの活動を広げるために本を支給するということですが、あそぶっくでブックスタートというのがあって、6ヶ月を過ぎたお子さんに本をプレゼントしていて、その時に読み聞かせもしています。あそぶっくの本は多少破いたりすること等も踏まえて貸出可能ですから、気にせず借りてくださいということをお話しして渡していました。プレゼントをするのは良いことだと思いますが、ブックスタートでプレゼントしているということを知っているのかと思ったことと、だとしたら年齢の関係で、半年と1歳児は本の内容も似たようなものになるので、2歳児とか上の年齢で本のプレゼントをした方が良いと思いました。

保育係長：絵本の取組ですが、ブックスタートはもちろんわかっています。ブックスタートは何冊かをまとめてプレゼントして、お母さんたちに読んでくださいという取り組みだと思いますが、幼児センターの取組は、「月間絵本」という毎月来るソフトカバーの本を使います。目的としてはお母さんとお子さんのスキンシップや、コミュニケーション、お子さんの情緒の育成もありますが、お母さんがどうやってお子さんと一緒に遊んだり、コミュニケーションをとったり、遊んだ時の反応をどう受け止めるかというのを、保育士が一週間絵本の読み聞かせをすることで、最初は言葉がわからない0歳児も、0～1歳児とだんだん言葉を覚えてくる時期に、リズムや繰り返しの音が心地良く感じて繰り返して言ったり、指差しをしたり反応が返ってくるようになります。そのように楽しんで読んだ絵本を家庭に戻すことによって、お母さんが初めて読み聞かせをしたり、子育てに苦手意識があってどうやって取り組んで良いのかわからないといった場合も、お子さんが喜ぶ本を読んであげると凄く喜んでいる反応を見られるとか、それを通して保育士と話ができるということになります。総合的にお子さんにとってももちろんですが、保護者支援を目的にしているので、ブックスタートとはまたもう一歩進んだ取組ということですが、1ヶ月ずつ本が変わっていくので、1ヶ月経ったらその本は家庭に戻して、家庭で読んでもらうということで取り組んでいるので、大きいクラスになると自分で本を選んだりセンターやあそぶっくの本を借りたりと違う取り組みになります。

下田委員：防犯カメラの話ですが、こども館と幼児センターそれぞれの玄関に付けますか。できれば教室等にもあった方が、ケガをした場合の証明にもなったり、危険個所があれば再発防止にもなるので、検証もできると思います。

保育係長：室内のカメラというよりは、外のカメラの方が必要だと思います。

こども未来課長：幼児センターは平屋で、教室から外の出入りができるようになっていて、出入り口となると相当数のカメラを設置しなければいけないので、まずは玄関でしっかり管理したいと思います。玄関に置くことで駐車場も見渡せますので、年に何度か駐車場で車をぶつけたというトラブルもあるので、そういった場面にも活用できると思っています。教室等への設置については、園児のプライバシーの部分もありますので、そこも含めて検討が必要と思っています。

- ・子育て支援係  
なし

## ○こども未来課

- ・こども未来係

下田委員：ニーズが増えているということですが、場所が狭いとか人が足りないとか待機児童を解消できていない等の問題もあるかと思いますが、いかがですか。

こども未来課長：幼児センターは11月いっぱいに入園募集を締め切りました。来年度も0歳児1歳児はかなり厳しい状態からのスタートになりそうです。1歳児につきましては、場合によっては少しお待ちいただく方を入園保留にせざるを得ない状況もありますので、対応は考えていかなければいけないと思います。施設の設備的には、0歳児1歳児はこれ以上幼児センターの中でみることはできない状況ですので、増える場合は、他町村との連携や、可能であればファミリーサポートセンター事業等を利用しながら、保育をしていただきたいと思っています。別なチャンネルとして、ニセコに進出されているいろいろな会社の中で、事業所内の保育所はできないかというところも思っていて、企業さんとも話をしていきたいと考えています。具体的な動きまではいっていませんが、企業の方で従業員向けの託児保育施設を運営しても良いということがあれば、そこに対して町として運営の支援をさせていただくということも含めて考えていきたいと思っています。こども館ですが、来年度もニーズが多い見込みですので、3年生までで募集をかけてきたところです。今のところ定員80名に対して60数名申し込みがありまして、これに加えて、来年度は4年生や5年生までみられるのかも少し調整したいと思っています。いずれにしても、あふれた子どもたちが行き場がないということにはならないようにしたいと思っていますので、放課後子ども教室等をうまく使って、子どもたちも何かしら安心安全に放課後を過ごす場所が確保できるという体系はとっていきたいと思っています。

下田委員：放課後の居場所としてイメージでもあれば、予算に組み込んではいかがでしょうか。

こども未来課長：具体的な場所までは未定ですが、できれば専用のスペースが確保できれば良いと思っています。可能であれば近隣で場所を借りられたらと思っています。来年度協力隊も募集してまして、将来的には、協力隊の方が自立していく中で、NPO法人等を設立して、そこで運営をしながら子どもたちの放課後を支えていくと

いう動きになれば良いと思います。こども議会の中でも、子どもが安心して過ごせる場所だったり、自分たちが買い物に行ける駄菓子屋が欲しいとかという意見も出ていますので、そういった機能も含めて、子どもが放課後を楽しめる場所ということにしていけたら良いと思っています。

**下田委員：**協力隊が非常に有効有能に活躍していただいています、やはり3年間の縛りがあるので、そこから会計年度任用職員や集落支援員になってもらうということでもうまく活用して進めていけると良いと思います。

**こども未来課長：**先程も申し上げましたが、できれば新しい放課後の居場所の運営は、NPO法人のように切り離して、地域みなさんにも関わっていただきながら、運営していく体制の方が良いと思っています。あそぶっくと同じように、地域みなさんの力も借りながら運営していくというイメージです。活動に対しては、町として委託事業ということで運営費を支援していくのは良いと思いますが、国でも子どもの第三の居場所という言い方をしますが、子どもの育ちを支える場所に対する新しい支援もできたり、いろいろな財団でも場所を開設するための改装改築新築に対する費用を応援する制度もたくさん出てきていますので、町の負担もあるかもしれませんが資金制度も活用していきたいと思っています。

**巻委員：**国は「こどもまんなか社会」と言いますが、具体的な部分は各自治体に任せられる中で、いろいろ考えなくてはいけないと思います。ユニセフの研修に行かれた職員がそれを有効に使って、良い提案をしていただけるとありがたいと思います。子ども・子育て支援事業計画の策定委託料が高額だと思いました。子どもの居場所がいろいろあって良いと思いますが、親同士のつながりはどうなのかと思います。おひさまを利用しているお母さんたちは大丈夫だと思いますが、利用していない人達をフォローすることにも目を向けていけると良いと思います。

**越湖委員：**放課後子ども教室が、来年度からこども未来課の所管になるということですが、現在国際交流員が放課後子ども教室に来て、英語を交えた時間を作ってもらっていますが、以前こども館で活動していた時は、学童の児童と一緒に過ごす時間もありました。こども館を離れてからは一緒に活動ができなくなりましたが、国際交流員にも了解を得て、来年から町民センターの和室を借りて、そこで国際交流員の時間を作ってみようということで検討しています。学童にも声をかけて、時間を設定して、学童と放課後子ども教室を利用している興味がある子を集めた時間を作って、お試しでやってみようということで2月に計画をしています。4月からも一緒に活動できる時間をもっと作っていききたいと思います。

**こども未来課長：**調査委託の件ですが、子どもの貧困調査を国の計画に沿ってやりたいと思っていますが、ニセコ町と国とではスケール感が違うので、精査して実施します。子どもの貧困というと経済的な貧困だけが取り上げられますが、子どもが朝ご飯を食べているとか、身なりがきちんとしているとか、生活面や学習面も含めて子ども自身の意思がきちんとして出ているということも含めた貧困ということで考えていますので、実態をつかんだうえで、今後の政策に反映していきたいと思っています。また、こども館と放課後子ども教室の事業についても、一緒にやっていたら良いと思っています。現在は、家庭の保育の状況でこども館と放課後子ども教室に分かれて活動しているので、子どもが自分のやりたいことを選択して負担感を感じることなく取り組める環境づくりが、最終的な目標と思っています。

**越湖委員**：放課後子ども教室は随時ではなく、春に募集をして申し込んだ子に保険をかけて活動しています。春に申し込まなかったり、学年で区切っているの上の学年になると、来たい子が来られないということがあります。全体的に考えると、児童館のような場所があれば良いと思います。学年で区切るということに違和感を感じていて、すぐに対応はできないと思いますが、誰でも出入りができるような児童館が必要だと思います。

**教育長**：そのような希望がある一方で、万が一事故等があった場合に、管理監督責任も問われることもあるのは事実です。

**こども未来課長**：本来の子どもの姿は、上級生が下級生の面倒をみたりすることによって、子どもの社会性を育てることにつながっていると思うので、申し込みがあるないだけで区切られないようにしていく仕組みづくりを考えていけたらと思います。

**越湖委員**：基本的な行動として、自分が遊びたいものを持ってきて遊んで、責任をもって元の場所にしまうということが一連の行動だと思いますが、こども館を出て町民センターの小ホールのスペースを借りて活動している以上、なかなかそのような体制が取れない状況がここ数年続いているので、すぐに対応できないと思いますが、自分でやりたいことを選択できる環境を整備した方が来る子も楽しいと思います。

休憩 13時50分

開会 14時00分

## ○町民学習課

・町民学習係  
なし

・スポーツ係

**巻委員**：リフト券補助の対象スキー場はどこですか。

**スポーツ係長**：町内3つのスキー場どこでも使用可能です。

**越湖委員**：個人的にモイワスキー場の斜面がなだらかなため、子どもたちの利用が増加すると良いと思います。

**スポーツ係長**：シーズン券助成、リフト券の配付などで、スキー場へ行く機会は設けています。未就学児のリフトは無料なので、上手く利用されると良いと思います。

**下田委員**：スキーや学生服のお下がりがあればよいと思います。

**町民学習課長**：個人同士では譲り合いがあると思います。行政が行うには、町内商店への影響や、収集時に着古した制服が集まった場合の対応など、考慮する面もあると思います。

**下田委員**：体育館の一般利用について、高校の体育館も含めて利用できるように調整できれば良いと思います。

**スポーツ係長**：高校の体育館は学校所管ですが、新型コロナの影響がおさまれば、一般利用も可能になるものと思います。

**巻委員**：パークゴルフ場のフェンスをもっと高くした方が良いと思います。

**スポーツ係長**：これまでもティーショットで打球が上がる場所には、フェンスの上に追加ネットを設置して対応してきました。同じように安全対策を行います。

・有島記念館係

下田委員：めん羊牧舎をどう利用していきますか。

有島記念館主査：現在は農具や民具の保管場所として使用しています。牧舎が老朽化していて、お客さんに常時公開するのは難しいです。

越湖委員：展示室照明のLED化を進めた方が良いと思います。

有島記念館係主査：電気代高騰もあり、進めた方が良いと思います。

教育長：「議案第2号」の提案理由の説明が終わりました。

それではこれまでの説明を通した総括質疑を行います。

質疑はありませんか。

・・・質疑なしの声・・・

教育長：以上で質疑を打ち切ります。

「日程第6 議案第2号 令和5年度ニセコ町教育費予算（案）について」は、提案のとおりとすることに異議ございませんか。

・・・異議なしの声・・・

教育長：異議なしと認め、「議案第2号」は、原案のとおり決しました。

教育長：「日程第7 その他、説明・協議事項」についてです。

何かございますか。

・・・なしの声・・・

教育長：その他連絡事項等ございませんか。

・・・学校教育課長から今後の日程の説明・・・

教育長：この際ですので、各委員から何かございませんか。

・・・なしの声・・・

教育長：以上で、第10回教育委員会議臨時会を終了いたします。

ご苦労様でした。